

【NEWS RELEASE】

2021年10月18日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ

「Net-Zero Banking Alliance」等への参加について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：太田 純、以下、グループを総称して「SMBC グループ」）は、2050年までに投融資ポートフォリオ全体から排出される温室効果ガス（Greenhouse Gas、以下「GHG」）排出量をネットゼロとすることのコミットメントを対外的に公表したことを踏まえ、国際的なイニシアティブである「Net-Zero Banking Alliance」（※1、以下「NZBA」）に参加いたしました。また、気候変動問題に対する取組をビジネス面、リスク管理面の双方で深化させるため「Taskforce on Scaling Voluntary Carbon Markets」（※2、以下「TSVCM」）、および「Partnership for Carbon Accounting Financials」（※3、「PCAF」）に参加いたしました。

SMBC グループは、2021年5月に、パリ協定の目標に沿ったGHG排出量削減を進めるため、長期行動計画「気候変動対策ロードマップ」および現中期経営計画期間中の施策パッケージ「アクションプランSTEP1」を策定・公表いたしました。また、2021年8月には、自らが排出するGHG排出量を2030年にネットゼロにすることに加え、2050年までに投融資ポートフォリオ全体でもGHG排出量のネットゼロを実現することへのコミットメントを公表しています。

NZBAは、科学的根拠に基づく中長期GHG排出量削減目標の設定やその進捗報告を通じて、2050年までに投融資ポートフォリオから排出されるGHGをネットゼロとすることを目指す国際的なイニシアティブです。NZBAへの参加を通じ、SMBCグループは自身のネットゼロ目標の達成に向けた取組を加速させるとともに、気候変動問題に関するグローバルな議論に加わることで、脱炭素社会の実現に向けた国際的な動きをリードしてまいります。

一方、脱炭素社会への移行に向けてはGHG削減技術等への投資とかかる技術に裏付けられた、実効性のあるカーボンクレジット取引市場の拡大が求められます。TSVCMは、高品質なカーボンクレジットの流通における基本原則（Core Carbon Principles）の策定を進めています。SMBCグループは、TSVCMへの参加を通じ、自身もカーボンクレジットを活用したネットゼロ目標の達成、並びにカーボンクレジット取引に関連するビジネス機会を模索することで、実効性のあるカーボンクレジット取引市場の拡大に寄与してまいります。

加えて、投融資ポートフォリオにおけるGHG排出量の測定・開示の標準化を目指すPCAFへも参加することで、SMBCグループの投融資ポートフォリオにおけるGHG排出量の測定・開示を高度化することにとどまらず、国際的な基準作りといったPCAFの活動に貢献してまいります。

SMBCグループは、サステナビリティ宣言に基づきお客さまをはじめとするステークホルダーとの対話を重ね、共に行動することにより、サステナビリティの実現に積極的に貢献してまいります。

(※1) Net-Zero Banking Alliance

国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）の主導のもと2021年4月に発足した、科学的根拠に基づく中長期 GHG 排出量削減目標の設定やその進捗報告を通じて、2050年までに投融资ポートフォリオから排出されるGHGをネットゼロとすることを目指す国際的なイニシアティブ。

(※2) Taskforce on Scaling Voluntary Carbon Markets

国連のマーク・カーニー気候変動対策・ファイナンス担当事務総長特使により2020年9月に発足した民間主導のイニシアティブ。パリ協定の目標達成に向けた実効性のある自発的炭素取引市場（カーボンクレジット取引市場）の拡大を目指しており、高品質なカーボンクレジットの流通における基本原則（Core Carbon Principles）の策定を進めている。

(※3) Partnership for Carbon Accounting Financials

投融资ポートフォリオにおけるGHG排出量の測定・開示の標準化を目指す、2015年12月に発足した金融機関の共同イニシアティブ。

以 上